

株式会社空間洗浄 Lab.

製品名: 業務用次亜塩素酸水生成用原液
SDS 整理番号: SDS-2023-0001
作成日: 2023/11/27
改訂:

安全データシート

1.製品及び会社情報

製品名: 業務用次亜塩素酸水生成用原液
形名: RE-A03-20
販売会社: 株式会社空間洗浄 Lab.
住所・ビル名: 大阪府大阪市中央区上本町西 1-2-16
電話番号: 06-7637-7336

2.危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

: 爆発物 分類対象外
: 可燃性又は引火性ガス 分類対象外
: エアゾール 分類対象外
: 支燃性又は酸化性ガス 分類対象外
: 高圧ガス 分類対象外
: 引火性液体 区分外
: 可燃性固体 分類対象外
: 自己反応性化学品 分類できない
: 自然発火性液体 区分外
: 自然発火性固体 分類対象外
: 自己発熱性化学品 分類できない
: 水反応可燃性化学品 分類対象外
: 酸化性液体 分類できない
: 酸化性固体 分類対象外
: 有機過酸化物 分類対象外
: 金属腐食性物質 分類できない

健康に対する有害性

: 急性毒性(経口) 区分外
: 急性毒性(経皮) 分類できない
: 急性毒性(吸入:気体) 分類対象外
: 急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない
: 急性毒性(吸入:粉じん) 分類できない
: 急性毒性(吸入:ミスト) 分類できない
: 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分外
: 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分外
: 呼吸器感作性 分類できない
: 皮膚感作性 分類できない
: 生殖細胞変異原性 分類できない
: 発がん性 分類できない
: 生殖毒性 分類できない
: 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない
: 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない
: 吸引性呼吸器有害性 分類できない
: 水生環境有害性(急性) 区分3
: 水生環境有害性(慢性) 分類できない
: オゾン層への有害性 分類できない

環境に対する有害性

ラベル要素

絵表示又は、シンボル
注意喚起語
標章

なし
: 該当なし
該当なし

製品名: 業務用次亜塩素酸水生成用原液
SDS 整理番号: SDS-2023-0001
作成日: 2023/11/27
改訂:

株式会社空間洗浄 Lab.

安全データシート

危険有害性情報 : 水生生物に有害
注意書き :
【安全対策】 : 環境への放出を避けること
【廃棄】 : 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること

3.組成及び成分情報

単一製品、混合物の区別 : 混合物(水溶液)
成分及び含有量 :

成分名	電解質	調整剤	水
含有量(%)	—	—	—
CAS No.	—	—	—
化審法番号	非公開	非公開	—
化審法	—	—	—

危険有害成分
安衛法「表示すべき有害物」該当成分
塩化水素
安衛法「通知すべき有害物」該当成分
塩化水素

4.応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
気分が悪い時は医師の診断手当をうけること
皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当を受けること
眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
: 眼刺激が持続する時は医師の診断手当を受けること
飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと
気分が悪い時は医師の診断手当を受けること

5.火災時の措置

消火剤 : 適切な消火剤
周辺設備に適した消火剤を使用する
特有の危険有害性 : 加熱されると容器が爆発するおそれがある
火災により刺激性、有毒及び/又は腐蝕性のガスを発生するおそれがある
特有の消火方法 : 関係者以外は安全な場所に退去させる
消火を行う者の保護 : 防火服/防災服/耐火服を着用すること
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること
消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 回収が終わるまで十分な換気を行う
保護具及び緊急措置 : 適切な保護具を着用する

製品名: 業務用次亜塩素酸水生成用原液
SDS 整理番号: SDS-2023-0001
作成日: 2023/11/27
改訂:

株式会社空間洗浄 Lab.

安全データシート

- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する
大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する
漏出物を直接に河川や下水に流さない
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する
- 二次災害の防止策 : 漏出物を回収すること

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : (火災・爆発の防止)
熱/火花/裸火/高温のものなどの着火源から遠ざけること
- 局所排気・全体換気 : 排気換気を行う
- 注意事項 : 皮膚に触れないようにする
: 眼に入らないようにする
- 安全取扱い注意事項 : 保護手袋、保護衣又は保護面を着用すること
: 取扱中は飲食、喫煙してはならない
- 保管
- 適切な保管条件 : 直射日光を避け、換気の良い冷暗所(または暗所)で保管すること
: 容器を密閉しておくこと

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理指標 : 管理濃度データなし
- 許容濃度 : (調整剤)日本産衛学会(2014)(最大値)2ppm; 3.0mg/m³
: (調整剤)ACGIH(2000) STEL: 上限値 2ppm (上気道刺激)
- OSHA-PEL : (調整剤)C 5ppm, 7mg/m³
- 設備対策 : 適切な換気のある場所で取扱う
: 洗眼設備を設ける
: 手洗い/洗顔設備を設ける
:
- 保護具
- 呼吸器の保護具 : 呼吸用保護具を着用する
- 手の保護具 : 保護手袋を着用する
- 眼の保護具 : 保護眼鏡/顔面保護具を着用する

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状態
- 形状 : 液体
- 色 : 無色透明
- 臭い : データなし
- pH : 酸性
- 融点・凝固点 : データなし
- 引火点 : データなし
- 発火点 : データなし
- 燃焼又は爆発範囲 上限/下限 : データなし

安全データシート

蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重(相対密度)	: 約1 g/cm ³
溶解度	: 水に対する溶解度 混和する
オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし

10.安定性及び反応性

安定性	: 通常の取扱い状態においては安全
危険有害反応可能性	: (塩化水素)水溶液は、強酸である。塩基と激しく反応し、腐食性を示す。酸化剤と激しく反応する。有毒なガス(塩素)を生じる。水の存在下で、多くの金属を侵す。引火性/爆発性ガス(水素)を生じる。(ICSC0163)
避けるべき条件	: 混触危険物質との接触 火源との接触
混触危険物質	: 塩基、酸化性物質、金属
危険有害な分解生成物	: 塩素、水素

11.有害性情報

急性毒性	: 経口: [日本公表根拠データ] (調整剤) rat LD50 =238 mg/kg (SIDS, 2009) [会社固有データ] (電解質) rat LD50= 3000mg/kg 吸入: [日本公表根拠データ] (調整剤) mist : rat LC50=0.42 mg/L/4hr (SIDS, 2009) 労働基準法: 疾病化学物質 塩化水素
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: [日本公表根拠データ] (調整剤) ラビット/マウス/ラット/ヒト 腐食性 (SIDS, 2009)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: [日本公表根拠データ] (調整剤) ラビット 腐食性 (SIDS, 2002) [会社固有データ] (調整剤) Category 2A
感作性	: 呼吸器感作性: [日本公表根拠データ] (調整剤) cat.1; 日本職業・環境アレルギー学会
生殖細胞変異原性	: データなし

安全データシート

発がん性	: (調整剤) IARC-Gr.3: ヒトに対する発がん性については分類できない (調整剤) ACGIH-A4(2000): ヒト発がん性因子として分類できない
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性(単回暴露)	: データなし
特定標的臓器毒性(反復暴露)	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし
誤えん有害性	: データなし

12.環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性(急性)	: 水生生物に有害 成分データ [日本公表根拠データ] (調整剤) 甲殻類(オオミジンコ) EC50=0.492mg/L/48hr (SIDS, 2005) [会社固有データ] (電解質) 魚類(ブルーギル) LC50 = 7341mg/L/96h
水生環境有害性(長期間)	: データなし
水溶解度	: (調整剤) 67 g/100 ml (30°C) (ICSC, 2000)
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: (調整剤) log Pow=0.25 (ICSC, 2000)
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

13.廃棄上の注意

残余廃棄物	: 環境への放出を避けること 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること
汚染容器及び包装	: 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去洗浄すること。

14.輸送上の注意

国連番号、国連分類	国連番号に該当しない
バルク輸送における MARPOL 条約附属書 II 改訂有害液体物質及び IBC コード	有害液体物質(Z類) 塩化水素 有害でない物質(OS 類) 水
国内規制がある場合の規制情報	: 船舶安全法に該当しない。 航空法に該当しない。

15.適用法令

株式会社空間洗浄 Lab.

製品名: 業務用次亜塩素酸水生成用原液
SDS 整理番号: SDS-2023-0001
作成日: 2023/11/27
改訂:

安全データシート

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。
労働安全衛生法
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
名称表示危険/有害物
塩化水素(別表第9の98)
名称通知危険/有害物
塩化水素(別表第9の98)
有害物ばく露作業報告対象物質(平成29年対象・30年報告)
塩化水素
化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
消防法に該当しない。
大気汚染防止法
ばい煙
有害物質
塩化水素
特定物質
塩化水素
水質汚濁防止法
指定物質
塩化水素

16.その他の情報

- ・記載内容は弊社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、全ての情報を網羅しているものではありません。新たな情報を入手した場合には、追加または訂正されることがあります。
- ・記載されている値は、安全な取扱いを確保するための参考情報であり、安全の保証書ではありません。
- ・ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定してください。また特別な取扱いをする場合には、新たに用途用法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。
- ・ここに記載した GHS 分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(NITE 令和元年度(2019 年度))です。
- ・当該化学物質を使用する際は、使用者自ら安全情報を収集すると共に使用される場所・機関・国などの、法規制については使用者自ら調査し最優先させてください。
- ・国または地方の規制についての調査は、当社としては行いかねますので、この問題については使用者の責任で処理願います。
- ・この SDS は株式会社空間洗浄 Lab.の著作物です。
- ・当該物質の日本語による SDS と他国言語にて翻訳された SDS が存在する場合、内容の相違があるなしに関わらず日本語で記述された文書が優先され、他国言語による文書は参考文書とします。

引用・参考文献

- ・GHS 混合物分類判定システム : 経済産業省(METI)
- ・GHS 混合物分類判定システム[出典] : 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)
- ・Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
- ・Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 19th edit., 2015 UN
- ・Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
- ・2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
- ・2017 TLVs and BEIs. (ACGIH)
- ・<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
- ・JIS Z 7253 (2012年)
- ・JIS Z 7252 (2014年)
- ・2017 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)
- ・Supplier's data/information
- ・安全データシート[塩化ナトリウム]: 純正化学株式会社
- ・安全データシート[純水]: 昭和化学株式会社 日本産業衛生学会 許容濃度の勧告(2016年度)